

子ども、高齢者。
そしてあなたにも。

Youtube 府民公開講座

しのびよる感染症

～あなたは対応を知っていますか？～



2025/1/1(Wed) 午前10:00 配信スタート ▶

第140号
WINTER

2025年1月1日発行

1月の キッチン カー



本館と南館のあいだ

平日	11:00~14:00	～6日と 13日(月) はお休み
月曜日	銀シャリ (おにぎり) ロコモコ	
火曜日	スパイスチキンカレー 沖縄定番タコライス	
水曜日	魯肉飯 (ルーローハン) 沖縄そば	
木曜日	スパイスキーマカレー 麻婆豆腐	
金曜日	角煮丼 チーズハンバーグ or カレー	

当センターの公式LINEを開設しました。悪天候による診療状況の変更や重要なお知らせ、イベント情報などをお送りします



※天候や状況により変更・中止となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※当センター公式LINEにご登録いただくと、毎月1日にキッチンカーメニューが配信されます。





糖尿病の今と昔

糖尿病の歴史

糖尿病の歴史は、紀元前 15 世紀頃のエジプトから、印度、中国の古文書に散見します。その中で、1862 年エジプトのテーベスの墓でエルベスが発見したパピルス「多尿を駆逐する医薬」に関する記載があり、糖尿病に関する最初の記載とみなされています。

では、日本で一番最初の糖尿病患者は誰でしょう。一説によると平安時代中期に活躍した藤原道長(966～1027)です。道長は、日記「御堂関白記」や「小右記」に、口の渇きや脱力感、視力低下、背中への腫れ物などの症状を訴えていたことが記されています。これらの症状は、糖尿病や合併症を示すものと考えられています。



エジプトのパピルス・エベルス

糖尿病の治療薬

糖尿病の治療薬で一番古いものは「インスリン」です。インスリンは 1921 年(大正 10 年)に、カナダの外科医フレデリックバンティングと助手のチャールズベストによって発見されました。バンティングとベストは、膵臓を摘出した犬のマージョリーに、膵臓の抽出物を注射すると血糖値が 2 時間で 50% 下がることが確認され、その抽出物をアイレチン(インスリン)と名づけました。

その後 1950 年代に飲み薬が開発され、現在も新しい内服薬や注射薬が次々開発されています。直近では週 1 回持効型溶解インスリンアナログ注射液「アウクリ®注フレックスタッチ®総量 300 単位」が 2025 年 1 月 30 日より発売になります。



バンティング(右)とベスト(左) 投与を受けた犬のマージョリー

糖尿病患者の寿命

日本糖尿病学会の「アンケート調査による日本人糖尿病の死因-2011～2020年の10年間、68,555名での検討-」によると糖尿病患者の平均寿命は、男性で約 74.4 歳、女性で約 77.4 歳です。これは、厚生労働省が発表した 2020 年の日本人の平均寿命(男性 81.6 歳、女性 87.7 歳)と比較すると、男性で 7.2 歳、女性で 10.3 歳短いこととなります。しかしながら前回調査と比べて男性で 3.0 歳、女性で 2.2 歳、それぞれ延命していることが示されました。

これは、日本人一般の平均寿命の伸び(男性 2.0 歳、女性 1.4 歳)よりも大きく、日本人一般の平均寿命と糖尿病症例の平均死亡時年齢の差は縮まってきています。

最後に

残念ながら、現在の医学知識では糖尿病は治る病気ではありません。しかし、適切に治療をして、良好な血糖コントロールを維持できれば、合併症の進展は防ぐことができます。糖尿病と上手につきあえば、一病息災も可能です。

糖尿病内分泌内科 畑崎聖弘

当センター 1 番外来前にて



糖尿病教室

2月12日(水) 14:00~

糖尿病合併症とフットケア
足の形と靴の選び方

\\ 同時刻配信中 /

3月11日(火)
14:00~

健康寿命を延ばそう
糖尿病の運動療法



Zoom
視聴

きらりさん

10階西病棟看護師長 清水 由希子

10階西病棟は、3診療科(消化器外科・消化器内科・口腔外科)45床の病棟です。外科の手術から内科の内視鏡治療、抗がん剤治療、口腔外科の抜歯術など多岐に渡る治療を行っています。45床のうち4床は、高度治療室(HCU)で手術後などの集中的に観察が必要な患者さんへのケアを行っており、ここでは、常時看護師1名が24時間担当しています。

このように、多疾患で様々な病態の患者さんの看護を行っており、入退院数や検査数も多い病棟です。スタッフは、20代の若手から60代プラチナナース、育児短時間勤務者など、多様なスタッフが活躍し、力を合わせてケアを行っています。また皮膚・排泄ケア認定看護師がおり、ストマケアや排尿ケア、褥瘡(じよくそう)

に関して各スタッフの知識や技術を磨き、質の高いケアを提供できるように頑張っています。また、ストマケア講習会を受けた看護師が、退院後のストマ外来を担当しており、入院中のケアの評価など継続看護の実践を行っています。

最近、口腔外科において光免疫療法が新しく導入されました。日光に当たらない環境が必要であるため、手術室や麻酔科、事務局と協力しながら治療・療養環境を整えて行っています。また毎日多職種(薬剤師や栄養士、リハビリセラピストなど)とカンファレンスを行い、チームで協働しています。その他、看護補助者とも連携し、患者さんの思いに寄り添ったケアを提供できるように、スタッフ一丸となって取り組んでいます。

これからも患者さんが入院中に安心してケアを受け、退院できるようにONEチームでサポートしていきたいと考えています。



管理栄養士の

ちょっと おいしい話

小松菜と かにかまの マヨネーズサラダ

2人前

材料

具材

小松菜	50g
かにかま	40g
マヨネーズ	小さじ4
塩こしょう	少々
酢	小さじ1/2
オリーブオイル	小さじ1/2
砂糖	小さじ1

作り方

1. 小松菜は洗い、さっと茹でる。粗熱を取り水気をよくしぼる。
2. 茹でた小松菜を3センチほどに切る。
3. かにかまはほぐしておく。
4. ボウルに塩こしょう、マヨネーズ、酢、オリーブオイル、砂糖を入れ混ぜ合わせる。
5. 4に小松菜とかにかまを入れて混ぜる。
6. 盛り付けしたら完成。



栄養量(1人前)

エネルギー	97 kcal
たんぱく質	2.9g
脂質	8.1g
食物繊維	3.1g
食塩相当量	0.6g

POINT

1月が旬の小松菜を使った副菜レシピです。
小松菜をほうれん草にしても美味しく食べられます！



要
予約

のマークがついているものは、事前に申込予約が必要です。マークがないものは予約不要ですので、開催当日会場までお越しください。

NEWS 院内開催情報 イベント情報



当センターを受診していない方もぜひご参加ください！

免疫リウマチ科 リウマチ・膠原病教室

関節リウマチの治療薬の進歩 効果と注意点

免疫リウマチ科 副部長 細川貴司

2.18 2025 14:00~15:15(13:30開場)
火 本館3階 講堂

参加
無料

予約
不要

受診歴
不要



肥満症外科外来

減量・代謝改善手術

実際に手術を受けた患者さんにお話を聞いてみませんか？



3.8 2025 ± 13:30~

本館3階 保険教室

当センターを受診していない方もぜひご参加ください！

予約不要

参加費無料

下記の方が手術対象となる
“可能性”があります



ご自身のBMIが
32以上の方

+

糖尿病、高血圧症、脂質異常症、睡眠時無呼吸症候群、非アルコール性肝障害・肝炎などの疾患をお持ちの方

要
予約

がん相談支援



がん治療と仕事の
両立について
相談しませんか？

センターでがん治療している方対象



治療を続けながら
働くことについて
専門の相談員が伺います

予約
直通 06-6692-2800

事前に電話予約が必要です



妊娠を
“あきらめない”
という選択を

女性のがん治療の研究に
ご支援をお願いします

3月クラウドファンディング開始予定

受診予約の 変更について

下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができます。ただし、紹介予約の変更はできません。

呼吸器内科 皮膚科
消化器内科 糖尿病内分泌内科
形成外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科
脳神経内科 腎臓・高血圧内科
脳神経外科

06-6692-1201

月～金曜日 14:00~16:00

(年末年始・祝日除く)

患者さんの 病状説明について

当センターの患者さん
患者さんのご家族対象

厚生労働省の「働き方改革」の趣旨に基づき、緊急でない患者さんへの病状説明（インフォームド・コンセント）等は、原則、平日の診療時間内に行っております。なお、診療上、主治医が判断した場合は、この限りではありません。より良い医療を提供するため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

面会時間のご案内

	一般病棟(中央館)	産科・小児科(南館)	ICU・CCU・SCU 救急病棟(中央館1館) NICU・GCU(南館)
時間	面会時間 15:00~19:00		
年齢制限	小学生以下 面会不可	直接お問い合わせ ください	面会を制限して おります
受付	1階 中央館エレベーター前	直接南館へ	直接お問い合わせ ください

夜間・休日の施錠について

平日 18:00 から翌朝 7:30 まで、土日祝日は、終日施錠しています。御用の際は、北出口・南出口よりインターホンで守衛にお知らせください。

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪急性期・総合医療センター

〒558-8558 大阪市住吉区万代東 3-1-56
TEL:06-6692-1201

受診の際は、地域の医療機関よりご予約いただき、紹介状をお持ちください。

自然災害など不測の事態の際は、診療の状況など重要なお知らせをホームページまたはLINEで行う場合があります。

